

レジメン名

DHAP

出典 Blood 1998;71:117-122  
 Blood 2013;121(1):48-53  
 Lancet 2016;388:565-575

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

非ホジキンリンパ腫

進行・再発補助療法(術前・術後)初発

投与減量の基準

Ara-C:

70歳以上→1000mg/m<sup>2</sup>/回×2ANC200/mm<sup>3</sup>未満またはPLT2万/mm<sup>3</sup>未満→1000mg/m<sup>2</sup>/回×2好中球減少関連敗血症→500mg/m<sup>2</sup>/回×1

CDDP:

CLcr: 40~60mL/min→75mg/m<sup>2</sup>、30~45mL/min→50mg/m<sup>2</sup>

投与中止の基準

CLcr	30mL/min以下		
その他			

1クール期間 21日

総クール数 3クール

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
シスプラチン	100mg/m <sup>2</sup>	NS1500mL	24時間	d1
シタラビン	2000mg/m <sup>2</sup> /回 1日2回12時間毎	輸液500mL	2-3時間	d2
デキサメタゾン	40mg/body	前投薬に混合NS100mL	15-30分	d1-4

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①アロキシ0.75mgハック+デキサート33mg (15-30min) ②シスプラチン100mg/m <sup>2</sup> +生食1500mL (24hr) ③生食50mL(フラッシュ用) ※腎機能障害を予防するため必要量の補液、適宜利尿剤を併用。
day2 ①デキサート33mg+生食100mL(15-30min) ②シタラビン2000mg/m <sup>2</sup> +輸液500mL(2-3hr) ③生食50mL(フラッシュ用) ④生食50mL(ルート確保用) ⑤シタラビン2000mg/m <sup>2</sup> +輸液500mL(2-3hr) ⑥生食50mL(フラッシュ用) ※②の12時間後に⑤を投与
day3-4 ①デキサート33mg+生食100mL(15-30min)
・ステロイド点眼液 1日4回両眼 (Ara-Cによる結膜・角膜炎の発症予防) ・必要時(day1-3) アプレピタントカプセル(125mg-80mg-80mg) ※使用時はデキサメタゾンのAUC上昇について十分に検討。